

～産科医療補償制度の事例からみる

助産診断と分娩時注意する事～

吉松先生は、OGCS 機関病院でもある国立循環器病研究センター病院にて多くのハイリスクの搬送を受け入れるなか、助産院の嘱託医療機関、産科医療補償制度原因分析委員もされておられます。今回は妊娠期、分娩時の CTG 事例を通して助産師が見落としてはいけないポイントをメインにご講義頂きます。又、胎児循環器の専門病院として、助産師外来や助産院での妊娠期の超音波による所見において専門病院の受診が望ましい症例もご講義頂きます。母子の安全なお産のために多くの方のご参加をお待ちしています。

【講師】 吉松 淳 先生

国立研究開発法人国立循環器病研究センター病院 周産期婦人科部長

【日時】 平成31年3月9日(土)13:30～15:30(受付開始12:45～)

【場所】 大阪府助産師会館 3階 研修室

住所：〒543-0032 大阪市天王寺区細工谷1丁目1番5号

URL：<http://www.josansi.org/>

TEL：06-6771-6537 FAX：06-6775-8446

*申し込みは、ホームページからお願いします。(申込期限：3月1日(金))
当日申し込みも可能ですが、早めにお越しください。

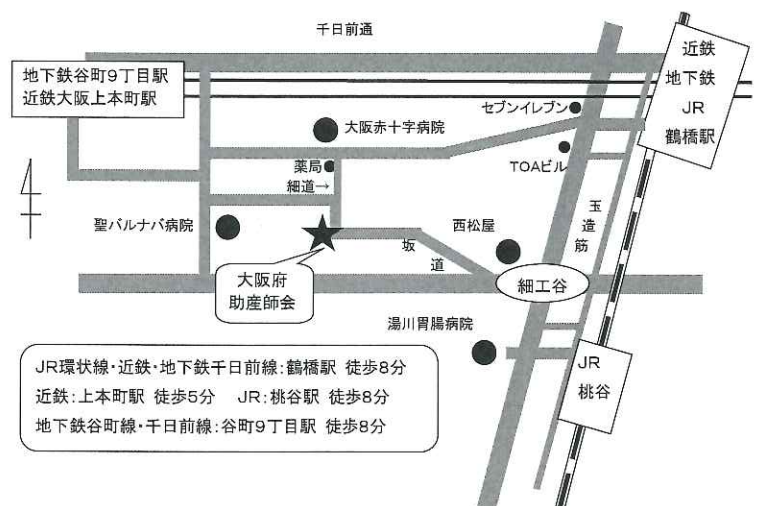
*会員は会員証をご提示ください。

*参加費

大阪府助産師会会員	3240円
非会員(他府県会員・一般)	5400円
学生	540円

*日本助産師会の継続ポイント及びアドバンス助産師®更新申請の受講証が取得できます。但し、15分以上の遅刻・早退は受講証の発行ができません。また、新規申請には該当しませんのでご注意ください。

*認定研修につき、研修時間中静かに過ごすことが難しいお子様の同行はご遠慮ください。



企画：大阪府助産師会 助産所部会